

12月定例会

一般質問に4人が登壇

議員本人が内容を要約して掲載しています

Q 第6波に備える対策について



内田恵子 議員

A 国の動向を注視し 適切に対応します

内田議員

新型コロナウイルスの第5波収束の兆しが見えたかのように思いましたが、第6波の不安を感じさせる新株が発見されました。政府も水際対策を拡大するとしています。今後の町の対策について3点伺います。

①3回目のワクチン接種と12歳未満のワクチン接種についての考えは。

町長

①65歳以上の高齢者の集団接種は、3月から予定しており、予約方法については、2回目をあいくるにおいて接種した方は、接種日時を指定した案内を行い、予約時の軽減を図りたいと考えています。64歳以下の方は、4月から予定しており、予約方法は従来と同様に行う予定です。なお、国では、新たな変異株「オミクロン株」の世界的な広がりを踏まえ、3回目の接種を前倒しする動きがあることから、今後、国の動向を注視

してまいります。12歳未満の小児の接種については、現在、正式に決定されていませんが、国の動向を注視し適切に対応していきます。

内田議員

②ワクチンの副反応が出た方や、新型コロナウイルス感染症の後遺症が出た方へのフォローや今後に向けた対策は。

町長

②副反応への対応は、接種券送付時の情報提供と、発症時には保健師が相談に応じます。感染後の後遺症については、保健所と連携を図り対応していきます。

内田議員

③成人式参加者にPCR検査の予算措置の考えは。

町長

③成人式に出席予定者は、町内在住者53名、町外者3名、道外は0名です。町が負担をしてPCR検査をすることにつきましては、北海道、札幌市、町内の感染状況、成人者のワクチン接種率などを考慮した場合、現時点では、そこまでの対応は要しないのではないかと考えています。

Q

長幌第2浄水場を活用した環境教育について

A 教育課程上の調整が必要となる

内田議員

長幌浄水場の完成を機にSDGsの取り組みとして、町民や子どもたちにとって、ラストや動画を使って施設見学や、環境を学習する機会を設ける考えは。

教育長

子どもたちが浄水場の仕組みや自然環境を守る大切さを学ぶ機会としては、小学校3・4年生においてイラストの入った副読本を活用した社会科学の授業で行つ

ています。

施設見学については大変重要であると考えますが、授業時間数や他の施設見学とのバランスなど、教育課程上の調整が必要なおことから学校と協議してまいります。

町民向けの学習会については町民のニーズなどを把握し、検討していきます。資料については長幌上水道企業団と相談します。



昨年の成人式の様子



4月から稼働する長幌第2浄水場